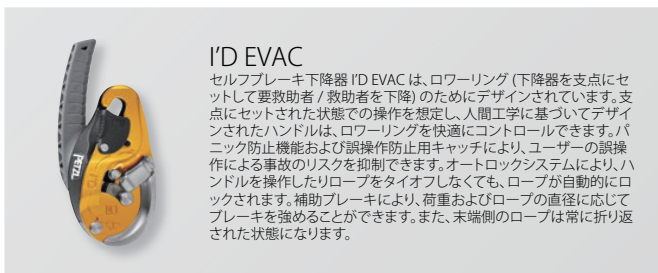


スキーリフトが停止した場合、管理者はまず乗客に状況を説明し、それから救助計画に従って乗客を救出します。乗客の救出は、予め決められた時間内で遂行される必要があり、多くの場合リフトのオペレーターによって行われます。

技術の特徴:

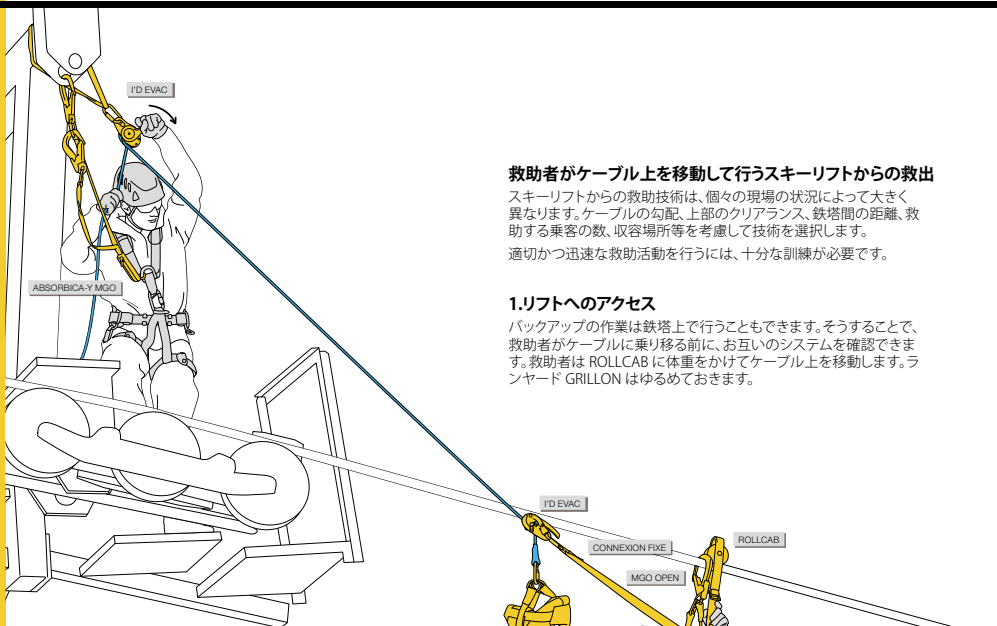
- ・鉄塔からケーブルに沿って乗客にアクセスします
- ・これらの作業は以下のチームメンバーで構成される複数のチームによって同時に進行されます:
 - ケーブル上で乗客を避難させるメンバー1名と、鉄塔から確保するメンバー1名
 - 地上にいて乗客のサポートをしながら、ケーブル上のチームメンバーに指示を送るメンバー1名
- ・救出作業を成功させるには、スタッフが適切な訓練を受けていること(少なくとも年に一度)が必要になります



I'D EVAC

セルフブレーキ下降器 I'D EVAC は、ローリング(下降器を支点にセットして要救助者/救助者を下降)のためにデザインされています。支点にセットされた状態での操作を想定し、人間工学に基づいてデザインされたハンドルは、ローリングを快適にコントロールできます。パニック防止機能および誤操作防止用キャッチにより、ユーザーの誤操作による事故のリスクを抑制できます。オートロックシステムにより、ハンドルを操作したりロープをタイオフしなくても、ロープが自動的にロックされます。補助ブレーキにより、荷重およびロープの直径に応じてブレーキを強めることができます。また、末端側のロープは常に折り返された状態になります。





救助者がケーブル上を移動して行うスキーリフトからの救出

スキーリフトからの救助技術は、個々の現場の状況によって大きく異なります。ケーブルの勾配、上部のクリアランス、鉄塔間の距離、救助する乗客の数、収容場所等を考慮して技術を選択します。

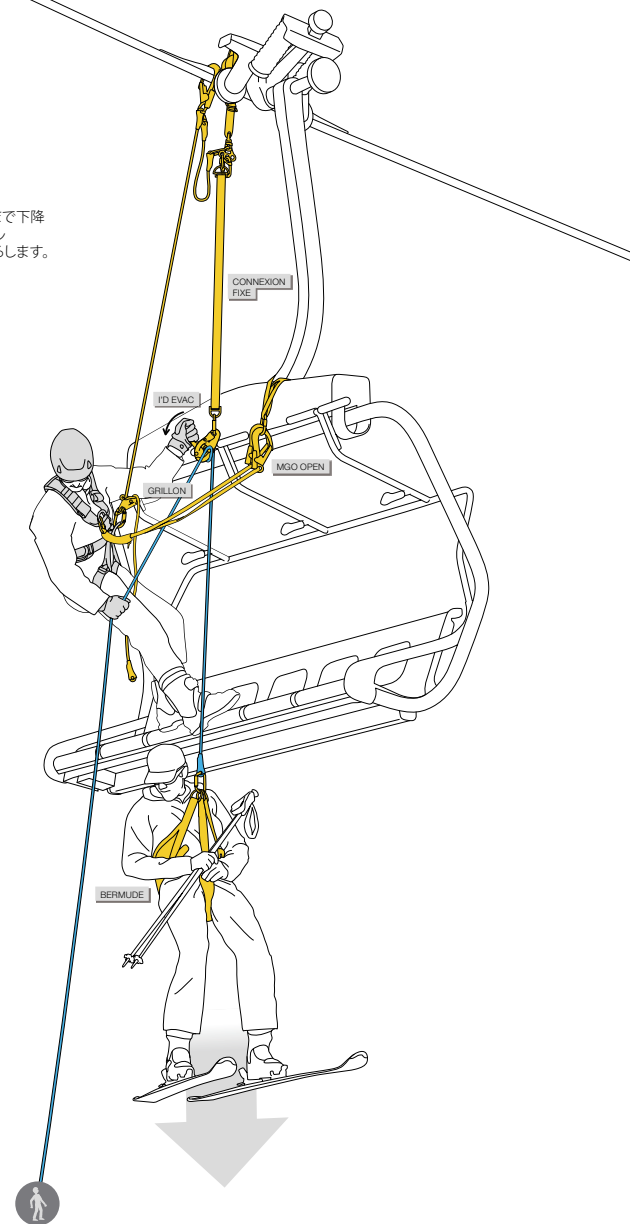
適切かつ迅速な救助活動を行うには、十分な訓練が必要です。

1. リフトへのアクセス

バックアップの作業は鉄塔上で行うこともできます。そうすることで、救助者がケーブルに乗り移る前に、お互いのシステムを確認できます。救助者は ROLLCAB に体重をかけてケーブル上を移動します。ランヤード GRILLON はゆるめておきます。

2. 要救助者の救出

救助者はランヤード GRILLON で座席部分まで下降します。要救助者にレスキュートライアングル BERMUDE を装着し、下降器 I'D EVAC で降ろします。



レスキューキットに含まれる製品:

- BERMUDE
 - I'D EVAC
 - CONNECTION FIXE
 - ROLLCAB
 - SWIVEL OPEN
 - PAW S
 - JANE
 - GRILLON
 - MGO OPEN
 - GO x 4
 - Am'D x 4
 - CAPTIV x 3
 - AXIS 11 mm
- (末端が縫製処理されたもの)

